

「努力の積み重ねが大事」

デフリンピック
金メダリスト **佐々木さん**（五戸出身）**八学大で講義**

八戸

八戸学院大は6日、聴覚障害者の国際総合スポーツ大会「デフリンピック」の

陸上男子100メートルで、日本人初の優勝を果たした佐々木琢磨さん（29）＝五戸町出身、仙台大職員Ⅱを八学大に招き、教職専門科目「道徳教育の理論と実践」の特

別講義を行った。佐々木さんは「夢や目標は小さくてもいい。努力を積み重ねていくことが大事だ」と呼びかけた。

同大健康医療学部人間健康学科で教員免許取得を目指す学生約50人が聴講。佐々木さんは、生い立ちやデフリンピックを知ったきっかけなどを紹介。経験を踏



特別講義で学生に「努力を積み重ねていくことが大事だ」と強調する佐々木琢磨さん

まえながら、失敗するのは当たり前とし、「失敗を受け止めることが大切」と強調。「納得するまで同じことを繰り返していればいつかできるようになる。夢を追うことは希望だ」と訴えた。

東京で開催される2025年のデフリンピックでは100メートル、200メートル、400メートルでの「3冠王を目指す」と目標を語った。

陸上競技部に所属する3年の嵯峨主徳さん（21）は「ハンディがありながらも競技に立ち向かう姿がすごい。陸上も教員免許も佐々木さんの言葉を思い出して取り組みたい」と話した。

佐々木さんは同日、五戸町の東北メディカル学院で開かれた公開講座でも講演した。

（柴田佳弥）